

# 広報えんがる

## 瓦版

JA北海道厚生連 遠軽厚生病院

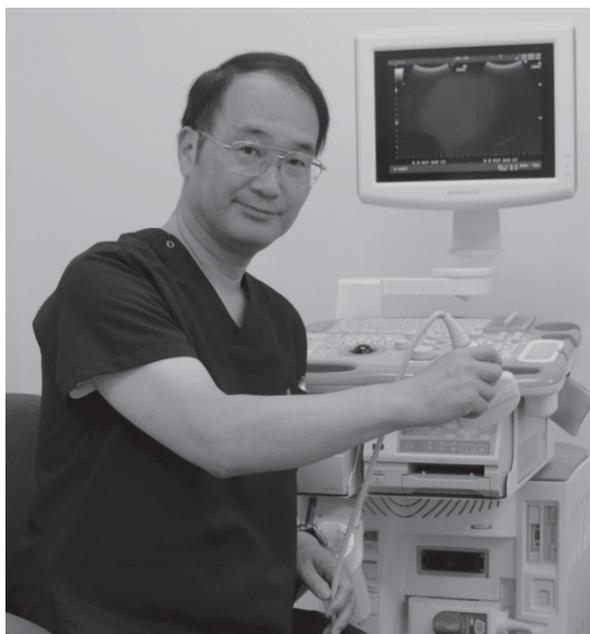
# 産婦人科医師が着任

産婦人科主任部長

石川雅嗣まさし 医師

JA北海道厚生連遠軽厚生病院の産婦人科に石川雅嗣医師が着任し、8月22日から妊婦の診療を開始しました。

遠軽厚生病院では、昨年10月から医師の不足により、産婦人科の常勤医が不在となっていました。遠軽町及び湧別町、佐呂間



遠軽厚生病院に着任した石川医師

町の遠軽地区3町でつくる「遠軽地区総合開発期成会」に、専門会議として「遠軽地区地域医療対策連携会議」を組織し、産婦人科医師の確保に取り組んできました。この活動により窮状を知った石川医師が、この地域で出産できる環境を守りたいとの思いから、このほど、遠軽厚生病院に赴任することが決まったものです。道内の医療機関で数多くの出産を取り扱ってきたという59歳の石川医師は、日本産科婦人科学会専門医や母体保護法指定医などの認定を受けています。

2016年(平成28年)

8月24日(水)

発行：遠軽町役場  
総務部企画課

電話 42 - 4818  
FAX 42 - 3688

握手を交わす石川医師と佐々木修一町長



石川医師は「このたびは、出産中心の地域医療に携わる機会をいただき感謝しています。出産はいつ始まるかわかりませんが、土曜日や休日も対応できるようにという覚悟で来ました。出産はチームワークが大切です。10月の分娩開始を目標に、助産師をはじめとしたスタッフとコミュニケーションをとり、さらに体制を整えば徐々に受け入れを増やしていきたいと考えています。」

## 総事業費5億円、水源を地下水に変更

# 生田原浄水場が稼働

8月10日から新たな生田原浄水場が稼働しました。

この浄水場は、旧施設の老朽化に伴い、平成24年から総事業費約5億円で建て替えを進めてきたもので、台風や大雨による濁水対策として、水源を地下水に変更して水道水の安定供給を図り、給水量は従来より140ト多いい日当たり560トになります。

さらに、この浄水場施設の建て替えに合わせて水道管の敷設工事を行い、生田原伊吹の介護老人保健施設「プライムいくたはら」と

児童養護施設「北光学園」に11月から水道水の供給を行います。

なお、町では来年度、安国地区でも新たな浄水場の稼働を開始する予定で、整備を進めています。



新たな生田原浄水場

■遠軽厚生病院産婦人科の今後の診療体制

【石川医師による外来診療】  
月曜日から金曜日 午前中  
【出張医による外来診療】

- ・木村出張医 毎月第1月・火曜日
- ・旭川医大出張医 毎月第2・第4火・水曜日

遠軽厚生病院  
☎42-4101